

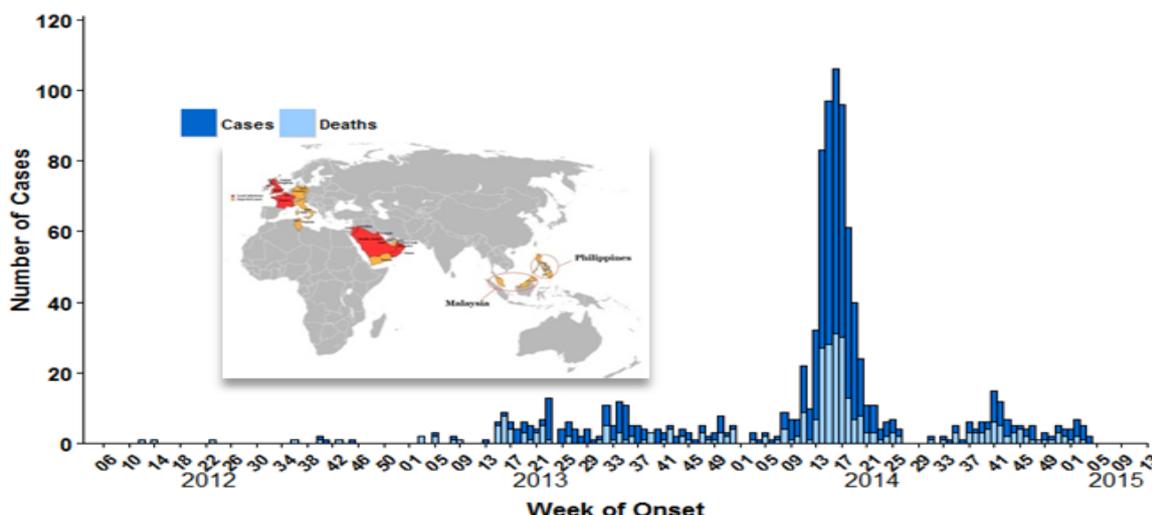


MERS号外1.

感染制御部

中東呼吸器症候群 (Middle East Respiratory Syndrome; MERS) ウイルス感染症 (2015年6月2日)

韓国で中東からの帰国者にMERSウイルス感染症が確認され、家族や入院中の院内感染で25人に感染が拡大しています。MERSに関する基礎的な情報と韓国におけるアウトブレイクの現在までの情報をお届けします。



Q4. ヒトからヒトへの感染はするの？

密接に接触した場合ヒトからヒトへの感染が確認されています。家族や医療従事者への感染が報告されており、また動物との接触歴のない人にも感染していることから、ヒト→ヒト感染も感染の経路のひとつと考えてよいでしょう。



Q5. どのくらいの病原性があるの？

現在のところ致死率は高い傾向にあります。世界保健機構（WHO）の報告によりますと1134人の患者が確認され427人（38%）が亡くなっています。SARSの致死率10%と比べても高いですが、新しい感染症は確認される患者が増えてくると、一般に致死率は下がる傾向にあります。

Q6. MERSの感染力はどのくらい？

これまでMERSコロナウイルスのヒト→ヒト感染は起こりにくいと考えられています。1人の患者が0.6人に感染させると計算されていますので、インフルエンザのように1人から2～3人に感染させる爆発的な感染拡大することはないと考えられています。

Q7. 韓国のMERS感染症アウトブレイクの状況

韓国では4月18日から5月3日まで中東の各国（バーレーン、サウジアラビア、カタール）を旅行し、5月4日に帰国した68歳の男性が、5月11日に発症し、15日まで外来で治療を受け、5月15日に入院しました。5月20日にMERS-CoV陽性と診断され、隔離されています。6月2日時点で25名の感染が確認され、最初に確認された男性からの二次感染（家族、医療従事者、同室あるいは同病棟入院患者、お見舞いの家族）および三次感染患者（最初の症例から感染し、その患者からさらに感染した場合）2名も発生していると報告されています。2人の死亡も報道されています。表にWHOの報告症例をまとめています（6月1日時点）。

報告された14例

No.1	68歳・男性	中東を旅行して帰国	No.8	46歳・女性	No.1の診療をした医療者
No.2	64歳・女性	No.1の患者の妻	No.9	56歳・女性	No.1と同病棟の患者
No.3	76歳・男性	No.1と同病室の患者	No.10	79歳・男性	No.1と同病棟の患者
No.4	46歳・女性	No.3の娘（看病していた）	No.11	49歳・女性	No.1と同病棟の患者
No.5	50歳・男性	No.1の診療をした医療者	No.12	49歳・男性	No.11の配偶者
No.6	71歳・男性	No.1と同病棟の患者	No.13	35歳・男性	No.1と同病棟の患者
No.7	28歳・女性	No.1の看護をした医療者	No.14	35歳・男性	No.1と同病棟の患者の息子

Q8. 韓国のアウトブレイクの今後の注目点

前述のようにヒト→ヒト感染の率は1人の患者から0.6人への感染と計算されましたが、今回20人以上に感染したこと（スーパースプレッダー）がまず最も注目されています。このことからウイルスがヒト→ヒト感染をおこしやすい変異を獲得した可能性も指摘され、その遺伝子解析結果が待たれています。もうひとつは、同病棟の患者やお見舞いの人にも感染したという点から空気感染の可能性です。さらに、感染力が強まると病原性が弱まる可能性です。これらについては、現段階では何もわかりませんが、今後もこれらの観点からの解析報告も続くはずですので、注意して情報をフォローして行き、新しい情報を